

2018年度 ポール・エドモンド=デイヴィス氏 フルート 特別講義

1. 日 時 : 2018年9月27日(木)13時30分～16時45分
2. 場 所 : O号館 202教室
3. 対 象 学 生 : フルート専攻・コース生 学内他聴講 不可
4. 講 師 紹 介 : ポール・エドモンド=デイヴィス氏 (Paul Edmund=Davies)

裏面参照

5. 講 義 概 要 :

4つの大事な分野: 呼吸とフレーズ/フィンガリング/タンギング/インターバル

ポール・エドモンド＝デイヴィス

英国ロンドン出身。ギルドホール音楽院で学んだ後、ロンドン交響楽団に入団。20年にわたり首席奏者を務め、その間に国際的フルート奏者としての名声を確立した。レナード・バーンスタイン、ロストローヴィッチ、ピエール・ブーレーズ、ケント・ナガノ他の指揮で協奏曲のソリストを務め、アンドレ・プレヴィンと室内楽で共演している。その後、フィルハーモニア管弦楽団、イングリッシュ・ナショナル・オペラの主席を歴任して、2013年にフリーランスに転向。現在はソリストとして各地で演奏会やマスタークラスを行い、イギリス室内管弦楽団やアカデミー室内管弦楽団で客演を務める傍ら、後進の指導やフルート教則本の執筆などに時間を費やしている。ロンドンの王立音楽院と王立音楽大学、マンチェスターの王立ノーザン音楽大学の客員教授。



演奏会やマスタークラスのために、また協奏曲のソリストとして、アメリカやヨーロッパ、カナダ、オーストラリア、中東、東アジアなど世界各地を訪れる。親日家で、オーケストラでの来日のほか、霧島国際音楽祭やワークショップツアー、またびわ湖コンクールや東京音楽コンクールなどの審査員としてほとんど毎年のように日本を訪れている。指導方法は柔軟で、全レベルのフルーティストを対象とし、従来の個人レッスンの他、クラスレッスンや全員参加型のワークショップといった形式も取り入れて喜ばれている。

フルートの楽譜の編集も手がけ、その多くをCD付きで出している。現在は、これまで無名の地位に甘んじて来た19世紀のイタリア人作曲家、ジュゼッペ・ラボーニのフルート曲全集に取り組んでいる。また、自らの経験に基づいてまとめて2007年6月に出版した練習曲集、「The 28 Day Warm up Book for all Flautists...eventually!」は、これまでに10版を重ね、日本語、スペイン語、ロシア語にも翻訳された。日本語版「28日間ウォームアップ～すべてのフルート奏者のために!」は、2016年3月に出版され、現在第3版、村松楽器の「売れ筋ランキング：教則本（日本語版）の部」で継続して上位にランクインしている。また、この本の成功を受けて、フルートを吹くすべての人々を対象とするオンライン・フルート学習サイト、「シンプルフルート」を立ち上げ、世界からアクセスを集めている (www.simplyflute.com)。

「スターウォーズ」「ハリーポッター1と2」「ミッションインポッシブル」「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」「美女と野獣」など、多くのハリウッド人気映画のサウンドトラックにも参加している。サウンドトラックから教材をとり、スクリーンやトラック音源を使って組んだ独自の全員参加型ワークショップは、米国その他で人気となり、ツアーを重ねている。

一方で「シャンペン・ギルド」を主宰し、かつて英国では入手できなかったシャンペンの輸入を手がける。2012年、シャンパーニュ騎士団のシュヴァリエ（騎士）の称号を授与される栄誉を受け、2015年にはオフィシエ（将校）に昇進した。フランスやオーストラリアでは、大人のフルーティストのためのフルートとシャンペン／ワインを楽しむコース、「フルート・フィースト」を企画し、好評を博している。